

1. 研修実践（研修カリキュラム修了により専門単位 20 単位を取得）

1) 専門基礎研修カリキュラム（がん）

(1) カリキュラム内容：専門作業療法士（がん）の専門基礎研修は、基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・~~Ⅵ~~で構成されています。各研修の目的、項目、コマ数、実施形態を表3に示します。

表3 専門作業療法士（がん） 専門基礎研修カリキュラム

	目的	研修項目	コマ数	研修方法
専門基礎Ⅰ	がん分野の作業療法に必要ながんとその治療・サポートケアに関する基礎知識を理解する	がんの基礎的理解とがんサバイバーシップ	1	講義
		がん治療学（①概論、②手術、③化学療法、④放射線療法）	1	講義
		がんの診断と検査データの見方（画像診断含む）	1	講義
		緩和ケア・緩和医療学(1)（トータルペインの概要、身体的苦痛に対する治療とケア）	1	講義
		緩和ケア・緩和医療学(2)（スピリチュアルペイン）	1	講義
		がんに関連する制度とサービス	1	講義
専門基礎Ⅱ	世代・病期に応じたチーム医療における作業療法士の役割とリスク管理を理解する	家族ケア・グリーフケア	1	講義
		治療期におけるがん作業療法の役割（就労・就学支援を含む）	3	講義
		進行期・終末期におけるがん作業療法の役割（在宅復帰支援/在宅支援を含む）	2	講義
		A YA（アヤ）世代（Adolescent and Young Adult（思春期や若年成人）/育児期の親世代/高齢者におけるがん作業療法の役割	1	講義
		がん医療に関わる多職種での役割（チーム医療）の理解	1	講義
専門基礎Ⅲ	各がん種に対する作業療法に関する専門的知識・技術を理解し身につける	原発性脳腫瘍・転移性脳腫瘍を経験した患者とその家族の生活支援	1	講義
		頭頸部がん・頸部リンパ節郭清を経験した患者とその家族の生活支援	1	講義
		消化器がん（食道がん・胃がん・大腸がん・肝胆膵がん）を経験した患者とその家族の生活支援	1	講義
		乳がん・婦人科がんを経験した患者とその家族の生活支援	2	講義
		泌尿器がんを経験した患者とその家族の生活支援	1	講義
		肺がんを経験した患者とその家族の生活支援	1	講義
		造血器がんの経験をした患者とその家族の生活支援	1	講義
		骨軟部腫瘍の経験を有した患者とその家族の生活支援	1	講義
		皮膚がんを経験した患者とその家族の生活支援	1	講義
		転移がん（転移性骨腫瘍・脊髄圧迫）を経験した患者とその家族の生活支援	2	講義
		転移がん（肝転移、肺転移）を経験した患者とその家族の生活支援	1	講義
		小児がんを経験した患者とその家族の生活支援	1	講義
専門基礎Ⅳ	身体症状をもつがん患者に対する作業療法の専門的知識・技術を理解し身につける	がん作業療法で求められるリスク管理	2	講義＋演習
		<del>呼吸困難を有するがん患者とその家族の生活支援</del>	<del>1</del>	<del>講義</del>
		全身倦怠感・体力消耗状態・廃用性症候群・がん悪液質を有するがん患者とその家族の生活支援	1	講義
		腫瘍浸潤・圧迫・CIPN、手足症候群、外見の変化、嚥下困難、食欲不振・過多、倦怠感などのがん治療の後遺症・有害反応に対するがん患者とその家族の生活支援	1	講義
		リンパ浮腫・終末期浮腫を経験した患者とその家族の生活支援	+2	講義
専門基礎Ⅴ	がん分野の作業療法を実践するうえで重要となる基本技能を身につける	がん性疼痛を有するがん患者とその家族の生活支援	1	講義
		精神腫瘍学	1	講義
		死生学・死生観を考える	3	講義＋演習
		がん医療に従事する作業療法士のためのコミュニケーションスキル・トレーニング（基礎編）	3	講義＋演習

※自己学習として以下の e-learning を利用されることをお勧めしますし学習する。日本癌治療学会 Cancer e-learning : (<http://www.cael.jp/>)

自己学習	作業療法士に求められるがんの知識（各論）を理解する	共通科目 臨床腫瘍学概論		
		代表的疾患の標準治療	婦人科がん	E-learning
		代表的疾患の標準治療	乳がん・内分泌腫瘍	E-learning
		代表的疾患の標準治療	小児がん	E-learning
		代表的疾患の標準治療	皮膚がん	E-learning
		代表的疾患の標準治療	造血器腫瘍（白血病）	E-learning
		代表的疾患の標準治療	骨・軟部腫瘍	E-learning
		代表的疾患の標準治療	上部消化管がん	E-learning
		代表的疾患の標準治療	脳腫瘍	E-learning
		代表的疾患の標準治療	肺がん	E-learning
		代表的疾患の標準治療	下部消化管がん	E-learning
		代表的疾患の標準治療	頭頸部がん	E-learning
		代表的疾患の標準治療	肝	E-learning
		代表的疾患の標準治療	胆・膵	E-learning
		代表的疾患の標準治療	造血器腫瘍（悪性リンパ腫）	E-learning
専門科目 放射線療法分野				

	脳腫瘍の放射線治療	E-learning
	緩和的放射線治療	E-learning

- (2) **受講方法**：上記、研修カリキュラム（表 3）をもとに開催される基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴを受講します。~~加えて、基礎研修が修了するまでに E-learning により基礎研修 0 を修了してください。~~研修の開催時期、会場、講師等の詳細は、「教育部研修会受講生募集案内」や協会ホームページの専門作業療法士取得研修案内にて広報されます。研修会参加申し込みを確認し、必要な手続きを行ってください。
- (3) **受講記録**：協会が主催する専門作業療法士研修においては、受講後、自動的に会員ポータルサイトの受講履歴に記録されます。受講後に履歴が更新されていることを確認してください。

## 2) 専門応用研修カリキュラム（がん）

- (1) **受講資格**：専門応用研修の受講資格として、専門基礎研修カリキュラムのすべてを修了していること。
- (2) **カリキュラム内容**：専門応用研修カリキュラムの各研修の目的、項目、コマ数を表 4 に示します。

表 4 専門作業療法士（がん）専門応用研修カリキュラム

	研修の目的	研修項目	コマ数	研修方法
専門応用Ⅰ	臨床場面における高い実践とチーム医療における高い応用能力を身につける	治療期のがん患者に対する実践演習（事例検討・発表を含む）	7	講義＋演習
専門応用Ⅱ		進行期・終末期のがん患者に対する実践演習（事例検討・発表を含む）	7	講義＋演習
専門応用Ⅲ		リンパ浮腫・終末期浮腫を呈したがん患者に対する実践演習（講義・事例検討・発表含む） ※リンパ浮腫セラピストは免除	7	講義＋演習
専門応用Ⅳ		在宅生活支援・在宅復帰支援における実践演習（事例検討・発表含む）	7	講義＋演習
専門応用Ⅴ		がん医療に従事する作業療法士のためのコミュニケーションスキル・トレーニング（応用編）	7	講義＋演習

- (3) **受講方法**：上記、研修カリキュラム（表 4）をもとに開催される専門応用研修を受講する。
- 研修の開催時期、会場、講師等の詳細は、「教育部研修会受講生募集案内」や協会ホームページの専門作業療法士取得研修案内にて広報されます。研修会参加申し込みを確認し、必要な手続きを行ってください。手続きには、受講資格の確認が含まれます。受講資格証明書（様式：専 OT-7-1）に必要事項を記入し、研修会への申し込みの際に添付して下さい。なお、大学院などでの学習と同時進行をすることもあるため、専門応用の研修を受けながら専門研究・開発の研修を同時に行うこともできます。
- (4) **受講記録**：専門基礎研修の受講と同様に記録をしてください。
- (5) **専門応用研修の一部免除について**：リンパ浮腫セラピストは、専門応用

Ⅲを免除します（表4）。

※リンパ浮腫セラピストとは、リンパ浮腫治療複合的治療料で定めている「専門的なリンパ浮腫研修に関連する教育要綱」にかかる要件を満たす者、とします。

- (6) **専門応用研修の修了**：専門応用研修のカリキュラムをすべて受講することにより、専門応用研修を修了とします。

### 3) 専門研究・開発カリキュラム（がん）

- (1) **受講資格**：専門研究・開発の受講については、表5の方法から選択し、順次進めてください。
- (2) **カリキュラム内容**：専門研究開発のカリキュラムの目的、研修項目、実施形態等を表5に示します。

表5 専門作業療法士（がん）：専門研究・開発カリキュラム

	目的	研修項目	実施形態
専門研究・開発	高度かつ専門的な実践能力に基づきがんの作業療法に関する研究・開発が実施でき、指導法、評価法、効果判定などの開発ができる	研究方法論をまなび、実践する	①協会が指定する専門研究・開発 e-Learning で、研究倫理や研究方法を学習し、研究・開発をすすめ、がんに関する研究論文を作成する。
		専門分野の指導を受け、研究開発を進める	②大学院にて博士、修士の学位を修得（原則として、がんに関する論文作成）

- (3) **受講方法**：表5の研修項目に掲載された課題を遂行します。表5の実施形態のうち以下の2種のいずれかを遂行し、がんに関連する論文を作成してください。

①協会が指定する専門研究・開発 e-Learning 「ICR-web\*」を受講し、より発展した研究・開発を実践していきます。受講方法の詳細は日本作業療法士協会ホームページからユーザー向け操作説明書をダウンロードし、確認してください。受講証明として ICR-web が発行する2枚の終了証（有料）が必要となります。

\*ICR-web : [https://www.icrweb.jp/icr\\_index.php](https://www.icrweb.jp/icr_index.php)

②大学院において博士、修士の学位を修得することによって専門研究・開発の研修を修了したものとみなします。原則として、がん関連論文の作成が条件です。

- (4) **受講記録**：受講方法①については受講証明として ICR-web が発行する2枚の修了証（有料）が必要となります。印刷し保管してください。受講方法②については大学院修了証と、原則としてがんに関する論文によって審査を行いますので、これらの必要書類を大切に保管してください。必要書類は、専門作業療法士資格認定審査申請時に研修実践の報告書に添えて提出する必要があります。